



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月26日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 経営管理部長 (氏名) 肥沼 邦幸

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

配当支払開始予定日

2019年9月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	8,675	7.5	173		110		69	
2018年12月期第2四半期	9,379	1.4	71		18		20	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	7.22	
2018年12月期第2四半期	2.15	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	17,843	9,190	51.5
2018年12月期	18,344	9,402	51.3

(参考)自己資本 2019年12月期第2四半期 9,190百万円 2018年12月期 9,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		15.00		15.00	30.00
2019年12月期		15.00			
2019年12月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,100	0.1	550	23.3	700	16.1	335	18.7	34.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	9,644,554 株	2018年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	8,608 株	2018年12月期	8,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	9,635,984 株	2018年12月期2Q	9,635,993 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、当第2四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに決算説明の動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2019年1月～6月）における日本国内の経済環境は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の増加など景気は引き続き回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向の不確実性、慢性的な労働力不足など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

また、アイスクリームを含めたデザート市場は年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが急速に進化し、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“*We make people happy*”「アイスクリームを通じて、お客様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN（楽しいこと、嬉しいこと、感動すること）”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入と強化を進め、店舗の改装やスクラップ&ビルドにも引続き積極的に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」、4月にはアイスクリームケーキ2品をリニューアルし、商品ラインナップを強化いたしました。また、“ミニオン”キャラクターを使用したバリュー・プロモーションや、平成最後の年（平成31年度）に因み、4月は「GOOD-BYE平成31」、ゴールデンウィークは「平成Thank youキャンペーン」、そして6月は昨夏好評だった「ミニオン」・31・ジャック」などを実施いたしました。また、コミュニケーション・ターゲットは今年も情報発信力の強い女子中高生に設定し、31cLubやSNSでの告知を強化して来店を促進し売上の向上を図りました。

店舗施策として改装を49店実施した一方、戦略的なスクラップ&ビルドを推進した結果、期末店舗数は1,161店舗と前年同期末と同様となりました。

しかし、売上高は、昨年3月と4月に実施したソフトバンク社とのコラボレーション「SUPER! FRIDAY」を今年は実施しなかったこともあり、当第2四半期累計期間は86億75百万円（前年同期比92.5%）と前年同期間を下回りました。

売上原価は41億74百万円（前年同期比88.2%）と主にキャンペーンの仕組みの違いによる原価率の改善により低減できたものの、売上総利益は45億1百万円（前年同期比96.9%）と売上減の影響により減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、物流効率化などの削減努力により減少しましたが、営業損失は1億73百万円（前年同期は営業損失71百万円）となりました。

以下、経常損失1億10百万円（前年同期は経常損失18百万円）、四半期純損失69百万円（前年同期は四半期純損失20百万円）となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ5億1百万円減少の178億43百万円となりました。これは主に、繁忙期に向けた製品の増加4億44百万円があった一方で、売掛金の回収による減少が6億96百万円、現金の減少が5億46百万円あったことによるものです。

負債は前事業年度末に比べ2億89百万円減少の86億53百万円となりました。これは主に、未払金の増加が1億65

百万円ありましたが、長期借入金の減少が2億14百万円及び未払法人税等の減少が1億59百万円あったことによるものです。

純資産は前事業年度末に比べ2億12百万円減少の91億90百万円となりました。これは主に、配当金の支払い及び四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月5日に公表いたしました「2018年12月期 決算短信（非連結）」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,395,376	1,849,136
売掛金	3,203,637	2,507,363
製品	750,395	1,194,507
原材料	645,025	520,630
貯蔵品	350,390	263,754
前渡金	40,772	183,092
前払費用	284,641	313,599
未収入金	152,365	242,523
その他	47,971	97,174
貸倒引当金	△86	△76
流動資産合計	7,870,491	7,171,707
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,114,753	4,125,719
減価償却累計額	△1,668,884	△1,738,835
建物(純額)	2,445,869	2,386,884
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	△214,776	△224,287
構築物(純額)	222,924	213,413
機械及び装置	3,997,716	4,074,222
減価償却累計額	△2,536,690	△2,626,217
機械及び装置(純額)	1,461,026	1,448,005
賃貸店舗用設備	4,300,697	4,566,175
減価償却累計額	△2,457,030	△2,563,272
賃貸店舗用設備(純額)	1,843,667	2,002,903
直営店舗用設備	168,092	169,476
減価償却累計額	△89,797	△98,312
直営店舗用設備(純額)	78,294	71,163
車両運搬具	71,065	63,814
減価償却累計額	△49,351	△40,028
車両運搬具(純額)	21,714	23,785
工具、器具及び備品	828,352	760,539
減価償却累計額	△633,542	△575,759
工具、器具及び備品(純額)	194,810	184,779
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	92,698	1,740
有形固定資産合計	7,056,366	7,028,038
無形固定資産		
ソフトウェア	327,651	489,845
ソフトウェア仮勘定	39,733	7,289
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	384,450	514,199

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	74,378	75,600
従業員に対する長期貸付金	3,003	2,462
破産更生債権等	139,865	180,950
長期前払費用	506,127	496,079
繰延税金資産	136,848	198,581
敷金及び保証金	2,181,193	2,188,519
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△27,460	△32,517
投資その他の資産合計	3,033,642	3,129,363
固定資産合計	10,474,459	10,671,600
資産合計	18,344,950	17,843,308

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	580,568	531,538
1年内返済予定の長期借入金	430,204	330,228
未払金	1,655,648	1,820,895
未払費用	37,568	67,161
未払法人税等	175,568	16,292
未払消費税等	43,571	-
前受金	2,276,977	2,279,127
預り金	162,466	202,530
賞与引当金	42,375	38,346
役員賞与引当金	3,000	-
ギフト券回収損失引当金	186,386	173,733
その他	71,476	32,716
流動負債合計	5,665,813	5,492,570
固定負債		
長期借入金	1,664,130	1,549,124
退職給付引当金	166,719	170,075
役員退職慰労引当金	85,900	93,680
資産除去債務	128,197	128,571
長期預り保証金	1,231,698	1,219,034
固定負債合計	3,276,645	3,160,485
負債合計	8,942,458	8,653,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	39,512	39,512
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,094,676	3,880,569
利益剰余金合計	8,442,866	8,228,758
自己株式	△16,893	△17,083
株主資本合計	9,402,337	9,188,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	18
繰延ヘッジ損益	-	2,195
評価・換算差額等合計	154	2,213
純資産合計	9,402,492	9,190,253
負債純資産合計	18,344,950	17,843,308

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	9,379,494	8,675,813
売上原価	4,732,789	4,174,416
売上総利益	4,646,705	4,501,396
販売費及び一般管理費	4,718,286	4,675,138
営業損失(△)	△71,581	△173,741
営業外収益		
受取利息	512	316
店舗用什器売却益	23,547	31,178
販売済未使用ギフト券収入	15,781	38,919
受取ロイヤリティー	15,064	8,274
その他	16,426	5,268
営業外収益合計	71,332	83,958
営業外費用		
支払利息	7,251	8,250
店舗設備除去損	10,794	10,500
その他	485	1,731
営業外費用合計	18,531	20,482
経常損失(△)	△18,780	△110,265
特別利益		
固定資産売却益	277	249
特別利益合計	277	249
特別損失		
固定資産売却損	236	-
固定資産廃棄損	22,300	25,752
災害損失	630	180
特別損失合計	23,166	25,932
税引前四半期純損失(△)	△41,669	△135,948
法人税等	△20,935	△66,381
四半期純損失(△)	△20,734	△69,567

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。